

# 令和8年6月21日(日曜日)実施 出水期前防災訓練のてびき

## 6月21日 午前8時30分 避難情報発令

訓練当日は、緊急連絡先(自主防災会等であれば、事前にご提出いただいた名簿の第1順位の電話番号)に着信があります。電話に応答すると、避難情報の自動音声で再生されます。

今回の避難情報は、「警戒レベル3 高齢者等避難」です。河川の指定はしませんので、お近くの河川にて災害発生のおそれがあると想定して訓練を行ってください。

また、同じ情報を「ながおかDメールプラス」「長岡市公式 LINE」「長岡市公式X」でも発信します。



### 「警戒レベル3 高齢者等避難」とは

(※ 令和3年5月20日に「避難準備・高齢者等避難開始」から改称されました)



- 長岡市が、気象情報や河川水位情報等から総合的に「災害発生のおそれあり」と判断した時に発令されます。
- 長岡市が指定している「指定緊急避難場所」が開設されます。

- 各地域にお住いの避難に時間を要する高齢者等が、危険な場所から避難を開始する情報です。
- 「高齢者等」には、障害がある人や、「高齢者等の方」の避難を支援する人も含みます。
- 「高齢者等」以外の人(乳幼児・児童)も必要に応じ避難準備をしたり、自主避難を行う情報です。

## 出水期前防災訓練の3本柱

はじめは3種全て出来なくても構いません。  
振り返りをして改善していきましょう。

「出水期前防災訓練」は、『情報伝達』『避難行動』『安否確認』の3点を重視した訓練となります。訓練に参加する団体は、この3点について事前準備と当日の動きを意識して取り組んでください。各種訓練に取り組む際は、「防災訓練計画兼振り返りシート」を実施計画の整理にご活用ください。

### 『情報伝達』

災害が発生した時、避難指示や被害状況などを早く、確実に共有出来るように訓練することが重要です。

特に水害では、気象情報や河川水位情報から危険をある程度予測できるため、素早い情報収集と伝達が必要です。テレビやラジオ、インターネットなどで情報収集を行い、電話やSNSで伝達、共有するなど、状況に応じて多様な情報伝達の体制を検討してみましょう。

伝達の速さ、正確さの面からSNSの活用を勧めます

(参考資料)

○別紙1:「災害時の情報収集の方法を確認しましょう」

訓練や実災害時に利用出来る情報ツールを掲載しています。平時から登録しておくことを勧めます。

裏面につづきます

## 『避難行動』

災害が発生した時、安全な場所へ早く、落ち着いて避難できるよう、避難計画を決めておくことが重要です。各家庭で、災害ごとに避難先や避難手段などをあらかじめ決めておきましょう。

特に水害では、浸水深や建物の構造によって、家庭ごとに避難計画が異なります。

「まずは浸水想定区域外に避難するか、在宅避難(垂直避難)するかを検討し、いずれも出来ない場合、市が開設する避難所等に避難する」という考え方が「長岡方式の避難行動」です。

まずそれぞれがハザードマップで自宅周辺の災害リスクを確認するところから始めましょう。

避難先や避難方法など、推奨する避難計画(モデルケース)を地域で決めておくことも効果的です。

(参考資料)

○別紙2:「長岡方式の避難行動(信濃川)のイメージ」

「長岡方式の避難行動」について説明しています。避難計画を検討する際の参考としてください。

計画を検討するのが難しい世帯の参考になります

## 『安否確認』

災害が発生した時、家族や近隣住民の安全と所在を把握できるよう、安否確認の体制づくりが重要です。

特に水害では、各世帯で避難計画(避難先、避難手段)が多様なため、安否確認の手段も多様化する必要があります。

浸水想定区域外に避難した方、在宅避難している方、避難所に避難した方、それぞれの安否確認をどのように行うか、またどのように情報を取りまとめるか検討し、全員の安否確認を行うことを目指しましょう。

基本的な準備として、安否確認用名簿、安否確認方法(誰が、いつ、どこで、どうやって)を定めておくことを勧めます。171番(災害用伝言ダイヤル)や SNS の安否確認機能も効果的です。

普段から使えるよう地域内でも PR しておきましょう

## 訓練の振り返り

各種訓練に取り組んだ後は、「防災訓練計画兼振り返りシート」で振り返りを行いましょう。実施計画に対してどこまで取り組むことが出来たか確認し、今後の改善点や対応を検討してください。

また、記入した「防災訓練計画兼振り返りシート」は危機管理防災本部に提出してください。この際、振り返りシートの写しを自主防災会で残しておくことを勧めます。

なお、同時に「自主防災会活動報償金」の申請をする場合は、申請書と一緒に提出してください。

訓練についてのお問い合わせは

長岡市危機管理防災本部

電話:0258-39-2262(平日午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで)

メール:bousai@city.nagaoka.lg.jp FAX:0258-39-2283

## 訓練のガイドライン

以下は出水期前防災訓練のガイドラインです。これを基に各団体に詳細な訓練内容を検討してください。毎年どこまで実践出来たか確認し、改善しながら Step3まで進むことを目指しましょう。

※まずは Step1の達成を目指してください。Step2、3に進むほど、より理想的な訓練の形式になります。

		情報伝達訓練	避難行動訓練	安否確認訓練	各 Step の目標
Step1	準備	○連絡体制を整備	○推奨する避難計画（モデルケース）を住民に提案する	○安否確認の体制を整備する	全戸に情報伝達出来ることを確認する
	当日	○電話や訪問で避難指示を伝える ○SNS 等で避難指示を伝える		情報伝達訓練を行いつつこれらの検討も進めましょう	
Step2	準備	○連絡体制を整備	○推奨する避難計画（モデルケース）を住民に提案する ○各世帯で避難計画を作るよう促す	○安否確認の体制を整備する	情報伝達を受けた人が避難行動出来ることを確認する
	当日	○電話や訪問等で避難指示を伝える ○SNS 等で避難指示を伝える	○情報伝達の際に避難先情報を加える ○情報伝達の際に避難先を聞き取る	左記の訓練を行いつつ安否確認の準備も進めましょう	
Step3	準備	○連絡体制を整備	○推奨する避難計画（モデルケース）を住民に提案する ○各世帯で避難計画を作るよう促す	○安否確認の体制を整備する	情報伝達、避難行動、安否確認、災害時の一通りの行動が出来ることが確認する
	当日	○電話や訪問で避難指示を伝える ○SNS 等で避難指示を伝える	○情報伝達の際に避難先情報を加える ○情報伝達の際に避難先を聞き取る ○所定の避難場所に避難する	○所定の方法で安否確認を行う	

全員参加でなくとも実践してみましょう